

# 「総合研究」の成果中学生に

## 特色ある学科進路へ P R

### 蘇南高

蘇南高校(杉村修一校長)の3年生6人が22日、南木曾中学校(金森茂校長)を訪れ、全校生徒101人の前で、各自がテーマを定めて1年間研究に取組んだ必履修科目「総合研究」の成果を発表した。「総合研究」は総合学科の特色ともいえる科目で、県内5校しかない総合学科のある蘇南高の良

さをPRした。

を定めて1年間研究に取組んだ必履修科目「総合研究」の成果を

発表した。「総合研究」は総合学科の特色ともいえる科目で、県内5校しかない総合学科のある蘇南高の良

さをPRした。を定めて1年間研究に取組んだ必履修科目「総合研究」の成果を

発表した。「総合研究」は総合学科の特色ともいえる科目で、県内5校しかない総合学科のある蘇南高の良

さをPRした。を定めて1年間研究に取組んだ必履修科目「総合研究」の成果を

発表した。「総合研究」は総合学科の特色ともいえる科目で、県内5校しかない総合学科のある蘇南高の良

さをPRした。を定めて1年間研究に取組んだ必履修科目「総合研究」の成果を



総合研究の成果を発表する蘇南高校の生徒たち

り組んだことを発表し、ものづくり系列の広田賢治君(18)が「環境整備事業」と題し野球部のトンボの修復や、手洗い場に明かりを設置する研究成果を披露した。南木曾中1年生の西尾天太朗君(12)は「自分で設計し、寸法を測るものづくりがすごい。自分もやってみたい」と感心していた。広田君は「学んだ知識を生かせると中学生に知ってもらえれば」と話した。当初、ものづくり系列だったが途中で変更したという新谷君は「ゆっくり進路を考えられるのが蘇南の魅力。少人数授業や資格取得ができるサポート体制も充実している」とし、「研究に興味を持ったらぜひ蘇南に入学して」と話していた。(細野はるか)